

## 令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立富士特別支援学校 富士東分校 P T A					
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input type="checkbox"/> 小学部	<input type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	24人				

### 1. 使用状況

寄贈物品名	<b>耕運機</b>
使用学年及び人数	高等部1, 2年生 8人
使用頻度	週4回(作業学習時に使用)
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業学習農耕班の活動で使用している。</li> <li>・作物の苗の定植や種の播種の3週間前から、耕運機を使用して畑の土づくりを行った。</li> <li>・作物の定植や播種完了後、畝間の中耕作業で活用し、水はけの向上や除草作業でも耕運機を使用している。</li> </ul>
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕運機を使って肥料・堆肥・苦土石灰を土に混ぜた。30cm程の深さまで掘り返しながら土をかき混ぜた。人力では力と体力が必要な作業であり、暑さもある中では作業が捗らないが、耕運機の力を借りることで、夏野菜の収穫をすることができた。</li> <li>・収穫した野菜は、富士東高校の生徒や教職員に販売した。その日に収穫した野菜であるため、大変好評ですぐに完売した。富士東高校と富士東分校の共生共育の取組に一役買った。</li> <li>・冬野菜に向けての土づくりでは、耕運機があることで中耕の作業を耕運機を担当する人が行い、その他の人が違う作業を同時進行で行え、労力の分散をすることができ、計画通りに作業を進めることができた。</li> <li>・初めて耕運機を使用した後に、手作業での土づくりを経験した生徒たちは、「耕運機すごい。」や「土がふかふか。」など表情や言葉に嬉しさがにじみ出ていた。</li> </ul>
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕運機の使用頻度は、定植・播種前以外にも、畑をきれいに保つため、耕運機を使用して中耕作業を行っている。また作業班の生徒の中には安全第一を重視する会社に職場実習へ行く生徒もいるので、安全を学ぶ教材としても活用していきたい。</li> </ul>
その他希望や所感など	

## 2. 活用の様子

# 作業学習農耕班

## 夏野菜

ミニトマト  
白ナス  
ピーマン  
オクラ  
とうもろこし  
キュウリ

## 秋冬野菜

大根  
白菜  
ニンジン  
スナップエンドウ

収穫した野菜は、  
富士東高の生徒や  
先生方に販売

